

mcAccess e を使った受発注・納品データ伝送システムが こだわり企業の省力化を支援する

中山ライニング工業株式会社 様

本社所在地 東京都江東区白河3-3-8
 URL <http://www.sasga.co.jp/>
 利用局数 40局
 利用周波数 800MHz帯/デジタル
 (mcAccess e)
 利用サービス ワイドエリア+全国ネットワーク



中山ライニング工業(株) 墨田営業所にて

自動車のブレーキに 携わって45年

昭和37年ドラムブレーキの消耗部品の交換作業からスタートした中山ライニング工業株式会社様。「当時の日本は高度経済成長期でちょっとでも車の調子が悪いとすぐに新品に買替えるのが当たり前。当社がやっていた部品交換、今でいうリサイクルなんて事は当時バカにされていましたよ」と中山社長は創業当時を振り返る。

その後、ブレーキの主流はディスクブレーキになり、同社の主な業務は自社ブランドである『SASGA』をはじめとするブレーキパッドなどの部品販売とディスクの研磨が占めるようになった。

無線でデータ伝送。 業務の効率化を図る

昭和42年、当時は大きな無線機を営業車に積み込み、迅速に客先を回ることで顧客を開拓していったが、他社と周波

数が共用だったため、ロケーションの良い場所に設置された大手企業の電波が強く通話をのっとられることもあったそうだ。

昭和55年にコンピュータソフト会社と相談して無線を活用した「受発注・納品データ伝送システム」を開始。「通話利用だけでは無線が持つ力を最大限に活かせていないと思い、このシステムを導入しました」と東京統括営業部長 高須



工場内のディスク研磨機。市販の製品には満足できず、設計から自分達で作り上げた(東京統括営業部長 高須 規行さん)



中山ライニング工業株式会社
代表取締役社長
中山 榮さん

私達は何十年もお客様である修理工場と直接話をしてますから、どんなものを望んでいるかがわかります。しかしその声をメーカーにフィードバックしても、製品化

されるまでに時間が掛り、発売時にはその時のニーズとはもうズレていることもあります。うちは小さい工場だからこそできる迅速で技術力の高いモノづくりやサービスを武器に頑張ってきました。ブレーキ周辺だけではなく『SASGA』商品はどんどんアイテム数を増やしています。お客様である整備工場などが必要としているものであれば、我々はどんどん取組んでいきます。

規行さん。これで、好結果が得られ、さらに昭和60年からは他社に通信が邪魔されないMCAシステムに切り替えてデータ伝送システムを利用している。

お客様から注文を受けて納品は翌日、早くて半日が一般的なこの業界で、同社は2時間以内に納品が完了する。このシステムは、作業効率を上げてムダを減らすと同様にお客様の作業も早められる。「皆さんに感謝されていると思います」と、高須さんは笑顔で話す。

アイデアと工夫で 常に前進を続ける

アナログのmcAccessから800MHz帯デジタルmcAccess e に変更して、サービスエリアが拡がり便利になったとお話をいただいた。声も聞きやすく、データ伝送時間も短縮された。災害時、緊急時を想定して東北支店にmcAccess e 無線機を設置したのは「電話が繋がらなくなってしまうと対応のしようがないですからね」と、情報管理担当顧問 小山晃さん。

mcAccess e を120%活用し、目標とする高いレベルの営業展開に取り組み続けている同社のフィールドは、自動車に限らず産業機械や建設機械など幅広い分野のブレーキシステムに及ぶ。平成12年には自社製品の品質保証の意味でISOも取得。中山社長は、「無線もオフコンもISOも必要だと思えば迷わず手を付けました。mcAccess e へのリプレイスもお客様のためになると考えたからです。」と付け加えた。

【墨田区認定小さな博物館／ブレーキ博物館】のご案内



平成12年にオープンした「ブレーキ博物館」は、人の命を守る最も重要な保安部品「ブレーキ」をテーマにして地域の人々に安全運転の大切さを伝えています。この「小さな博物館」という事業は墨田区が展開する3M運動*の一つです。

***墨田区3M運動**
墨田区で実施している産業イメージアップ運動で小さな博物館運動のほか、マイスター運動、工房ショップ運動がある。



ブレーキ博物館
館長代理
杉本 博さん

見学を訪れたり修学旅行の生徒さんや外国から来館されることもあります。この博物館で見たこと、体験したこと、感じたことを皆さんで話し合っ



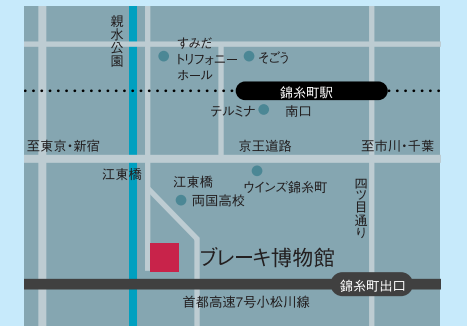
ブレーキの大切さを啓発するために、このようなディスプレイも製作

世の中にはたくさんの乗り物があり、全ての乗り物にはブレーキがついています。そのブレーキの役割と大切さを、目と体(疑似体験)を通して理解していただき、安全運転の一役となればという目的でこの博物館を開きました。近隣の学校の生徒さんが社会科



案内しています。見学後に生徒さんから送られてきた感謝のお手紙は、スタッフルームに大事に飾ってあります。

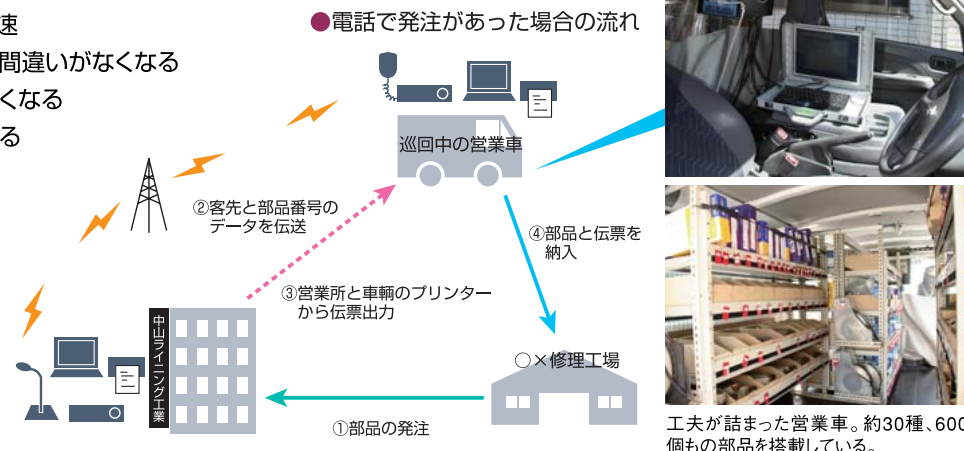
〒130-0022 東京都墨田区江東橋1-5-5
 (中山ライニング工業(株) 墨田営業所2F)
 開館時間 / 10:00~17:00
 休館日 / 日・祝日、年末年始、臨時休館日有
 TEL.03-3632-6931 FAX.03-3632-6932
 Email / sugimoto@sasga.co.jp
 担当 / 館長代理 杉本



◆システム導入メリット

mcAccess e +受発注・納品データ伝送システム

- ① 電話による受注から納品までが迅速
- ② 商品と伝票が連動して管理面での間違いがなくなる
- ③ 履歴が残るので受発注のミスがなくなる
- ④ 営業車同士で不足した部品を補える
- ⑤ 手書き伝票文字の見間違いや書き間違いがない



工夫が詰まった営業車。約30種、600個もの部品を搭載している。